



とよさとみなみ

豊里南 小学校

所在地	〒533-0013 東淀川区豊里5丁目12番41号
電話番号	06-6329-0880
FAX	06-6329-7083
校長名	森元 貴子
開校年度	昭和59年度



◆学校からのメッセージ

本校では、「よく考える子」「心豊かな子」「たくましい子」を校訓に、「自らの力でよりよい未来を創り出そうとする子どもの育成」を教育目標として、子どもたち一人一人の可能性を大切にした教育活動を進めています。

今年度は、ウェルビーイングを中核とした学校づくりを推進し、「安心」「つながり」「成長」を土台に、子どもたちが自分らしく生き生きと学べる学校を目指しています。特に、自ら課題を見つけ、仲間と協働しながら学びを深める探究的な学びを通して、自立した学習者の育成に力を入れています。また、自分の考えを相手にわかりやすく伝える表現力や、多様な考えを受け止めながら発信する力の育成にも重点を置いています。

さらに、昨年度から「生成AIパイロット校」として、生成AIを子どもたちの学びに生かす先進的な取組を進めています。情報を正しく活用する力や、自分で考え判断する力を育みながら、これからの社会を生きるために必要な資質・能力の育成を目指しています。

子どもたちが「学校が楽しい」「もっと学びたい」と感じながら、安心して成長できる学校づくりを、教職員一同で進めてまいります。

◆運営に関する計画

【安全・安心な教育の推進】

- ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を84%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・小学校学力経年調査における、国語と算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.2ポイント向上させる。
- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を73%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「総合的な学習の時間や各教科等において、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの

学習活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。

- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を64%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を78%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「インターネットや生成AI、SNS等を活用する時に、情報の確かさを確認し、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を92%以上にする。

◆令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果から

【国語】「情報の扱い方に関する事項」の領域においては正答率が大阪市平均を上回り、全国平均との差は小さかった。「我が国の言語文化に関する事項」と「書くこと」の領域の正答率は、全国平均大阪市平均を大きく下回った。目的に応じて文章と図表などを結び付け必要な情報を見つける問題の正答率が低かった。

【算数】全体的に低い正答率となっており、「数と計算」と「図形」の領域の正答率は特に低かった。異分母分数の加法の正答率が高いのに対し、単位分数の幾つ分かをとらえる問題の正答率は低い。数の性質や意味を理解したうえで四則計算する力を伸ばすことが課題である。

【理科】全体的に低い正答率になっている。「エネルギー」を柱とする領域は、全国平均大阪市平均との差は比較的小さかった。「生命」「地球」を柱とする領域は、全国平均大阪市平均との差が大きかった。電磁石や乾電池に関する問題の正答率が高いのに対して、磁石の性質に関する問題の正答率が低かった。知識の定着に偏りがあり、既習事項に関連付けて整理することが課題である。

平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	50	43	44

【P.20に全国・大阪市平均を掲載。】

◆令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果から

男子は握力・長座体前屈・立ち幅とび以外は全国・大阪市平均を下回っている。女子は立ち幅とび・50m走以外は全国・大阪市平均を下回っている。男女ともに20mシャトルランと反復横とびは、大きく下回っており、持久力・走力・俊敏性に課題がある。体力合計点は、男女ともに全国・大阪市平均を下回っており、特に男子は差が大きい。男女とも総合評価のA評価は0%で、男子はB評価10%、E評価23.5%、女子はB評価21.4%、E評価14.3%である。男子は全体的に数値が低く、4分の1がE評価であることが課題である。

昨年度の結果を踏まえて、今年度は立ち幅とび（瞬発力）の強化に取り組んだ。その結果、男子は大阪市平均を上回り、女子は全国・大阪市平均を上回った。重点的に取り組むことで成果が表れているので、今後も課題克服と体力全般の向上に取り組んでいく必要がある。

児童の多くが運動は好きであり、体育学習に進んで参加している。児童の意欲を運動能力の向上につなげることが課題である。児童が自分の体力を把握し向上させる喜びを感じられる指導法を研究し、体育学習が日常的な運動習慣に広がっていくことを目指した取り組みをしていく必要がある。

種目別平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ボール投げ	体力合計点
男子	15.82	15.83	33.44	34.56	29.94	9.63	150.89	20.50	47.35
女子	14.19	17.33	34.20	34.20	28.07	9.79	147.47	12.47	51.07

【P.20に全国・大阪市平均を掲載。】

◆学校行事の内容

- 【1学期】入学式（4月） 避難訓練（4月） 春の遠足（5月） 引き渡し訓練（5月） プール開き（6月） ミナクルパーティー（6月） 5年自然体験学習（6月）
- 【2学期】避難訓練（9月） たてわり班遠足（10月） 運動会（11月） 6年修学旅行（11月姫路セントラルパーク・ネスタリゾート） 作品展（11月）
- 【3学期】6年卒業遠足（1月キッザニア） 避難訓練（1月） 研究発表会（2月） 卒業生を送る会（3月） 卒業式（3月）



◆特色ある教育活動



※豊里南小学校は適正配置対象校となっておりますが、ただちに具体化するものではありません。詳しくは、東淀川区役所ホームページ「東淀川区における学校配置の適正化の取り組み」でご確認ください。

